

ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線 第5回 三者協議 ニュース

このニュースは、ひかりが丘住宅線及び生駒ニュータウン線を今後も持続可能な路線とすることを目標に「住民」「奈良交通」「生駒市」の三者で話し合いをした内容をお知らせするものです。

今回は、過去 4 回の三者協議とあすか野地域公共交通検討委員会(以下、あすか野特別委員会)から提案いただいた利用促進の取り組みの中から、実際に取り組むものを選択し、グループに分かれて実現に向け具体的に話し合いました。

【開催概要】

日時:令和 5 年 8 月 10 日(木)18:40~20:30

場所:白庭台中央集会所

参加者:14 名

(あすか野 6 名、白庭台 3 名、西白庭台一丁目 1 名、あすか台 1 名、ひかりが丘 1 名、辻町 1 名、北田原町 1 名)

プログラム

- ①前回の振り返りと 今回の進め方
- ②取り組みを考えるワーク



1. 前回の振り返りと今回の進め方

前回の三者協議で話し合われた内容を、最初に振り返りました。その後、今回の進め方について説明を行いました。

- ・前回までの三者協議会で出された案やあすか野特別委員会にご提案いただいた案を、テーマごとに下記 6 つにグループ分けしました。
- ・今回は、この 6 つのグループの中で関心のあるテーマに分かれて、実際に取り組むを進められるように具体的に話し合いを進めました。

【今までに提案された取り組み案一覧】

グループ	内容
1. 周知	利用促進のための広報活動
	利用促進運動の実施
	バス停時刻表の全戸配布
	バス利用の特典がある店舗の案内マップを作成
	市や奈良交通による施策を自治会で広報する
2. 現状把握	あすか野保育園の保護者らにむけた利用ニーズ調査・利用促進
	全路線の利用者ニーズを調査
	公共交通問題に取り組む特別委員会を設置
3. メリット付与	スタンプカードを活用した高校生の利用促進
	日常的な買い物に対する、バス利用者への特典付与
4. 機会創出	ベルテラスのイベントと連携した利用促進
	夏祭りの景品に回数券を復活
	文化祭等の自治会行事での貸し切りバス利用の復活
	麻雀イベントによる集客・利用促進
	商店街と連携したイベント開催
イベントによる需要創出	
5. 運行経費負担	バス回数券などの配布
	サポーター制度の設立支援
	夏休みの利用促進

グループ	内容
6. その他	沿線商店・飲食店・企業にバス車内広告出稿やバス停ネーミングライツの呼びかけ。
	生駒駅市営駐車場の値上げ
	生駒市内フリー切符等の企画券を奈良交通が作成し、生駒市ふるさと納税限定返礼品に。
	市役所、図書館などの公共施設を利用する場合に、バス利用者にクーポンを配布する
	回数券の販売所を増やす
	専らバス便のみの市施設でのイベントはバス時刻を意識して開催時間を設定。
	自転車で駅まで通う利用者へむけた運賃の差額補助の取り組み
	通勤・通学者の利用促進
	白庭病院の独自バスの統合に向けたはたらきかけ
	住宅地とスーパーマーケット間の運行に向けた取り組み
	ノーマイカーデーの設定による利用促進
	小中学校で生駒市の公共交通を考える出前授業の実施や公共交通利用促進パンフレットの配布。
	ボランティアへの謝礼としての回数券の配布
	小明寺垣内バス停への駐車場の設置・図書館駐輪場のバス利用者への開放。
バス停付近の駐輪場整備	

2. 取り組みを考えるワーク

参加者の関心が高かった「周知+機会創出」、「運行経費負担」の取り組みについて2つのグループに分かれ、意見交換を行いました。どういう人を対象にするのかターゲットを明確にして、目的、方法、期待する効果、行政・事業者と協力をお願いすることを話し合い、取り組みを具体化していきました。

周知+機会創出

【企画名】

- ・バスにのろう！ポスターコンクール

【企画概要】

- ・バス利用を促進するためのポスターコンクールを開催
- ・対象者は市内の小学生
- ・冬休みの課題として市内全小学校で採用してもらうことを目指す

【取組の手順・役割分担】

- ①教育委員会に依頼するための企画チラシづくり
 - ・グループメンバーが案を作成、それをもとにグループ全員で内容について話し合う
- ②教育委員会・学校に依頼
 - ・企画チラシを持って生駒市から教育委員会を通じて各学校に依頼
- ③審査方法の確定
 - ・グループメンバーで数点まで絞り込み、市役所などで市民に投票してもらう
- ④審査会の開催
 - ・最優秀賞1名、優秀賞2名、自治会賞数名などを想定
 - ・賞品は今後グループメンバーで検討(オリジナルデザイン CI-CA(シーカ)など)
- ⑤応募作品の掲示
 - ・掲示場所をグループで検討
 - ・できればすべての絵を掲示できるとよい
 - ・市役所などの他、店舗などにも協力を求めたい

【取組体制】

- ・グループメンバー全員

【取り組み目標】

- ・できるだけ多くの子どもの絵を描いてもらう

【今後の予定】

- ・9月14日(木)18時40分に再度集まり、実施に向けた検討を進める



運行経費負担

【企画名】

- ・サポーター制度の導入

【企画概要】

- ・路線の存続を希望する地域住民から運行サポーター募り、寄付を募る
- ・寄付の一部を赤字補填や新規需要の開拓の取り組みに充当する
- ・運行サポーターを募るためのインセンティブ(買い物補助券など)の検討を行う

【取組の手順】

- ①協力店舗の発掘
 - ・鹿ノ台の取り組みを参考に、近隣スーパー(いそかわ・ハーベス)に協力依頼を行う
- ②協力依頼の資料作成
 - ・協力依頼のための資料を作成する
(あすかの地区の現状・課題や、あすか野地区、ひかりが丘地区でのニーズなど)
- ③共通定期券の検討
 - ・自治会で定期券を購入し、サポーターであればだれでも使える仕組みの検討を行う
- ④会員カードの検討
 - ・サポーターであることを証明する会員カードを作成し、さまざまなメリットが享受できる仕組みの検討を行う

【今後の予定・取組体制】

- ・あすか野特別委員会終了後に集まり、取り組みを検討する
- ・LINEグループを作成し適宜情報共有を行う



参加者・協力者等を募集しています

バス路線を維持するためには、今回お集まりいただいた方に加え、地域が一丸となって取り組みを進めることが必要です。上記の取り組みに興味のある方、「こんなお手伝いならできる」という方、「他にこんな取り組みをしてみたい」などの思いのある方は下記にご連絡ください。

